

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 040-012

PDCA	事務事業名	市民交流センター管理運営事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民交流センター担当	担当 内線等	富安 32-3430	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち 節： 第1節 協働のまちづくりの推進 基本施策： 3. ボランティア・市民活動支援 単位施策： (2) ボランティア・市民活動支援体制の充実 個別施策： ④公益的活動の支援					
	根拠法令等	半田市市民活動支援センター管理規則					
	対象・目的	ボランティア、市民活動の総合窓口である「はんだまちづくりひろば」と駅前という好立地を活かした貸館の「市民交流プラザ」、地域全体で子育てを支援する拠点としての「子育て支援センター」などの総合施設として、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点を目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	ボランティア・市民活動の情報発信・交流の場としての機能を充実し、市民活動団体等の市民活動支援センターの活用を推進する。また、市民等が利用しやすい環境の維持及び整備に努めるとともに、様々な広報媒体を活用し、施設利用を啓発する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①センター開設日数	347	320	287	日	
		②ホール・ミーティングルーム使用件数	1,606	1,525	1,001	件	
		③市民活動支援センター使用件数	2,824	2,477	1,791	件	
		事業費	45,638	188,606	38,701	千円	
		人件費	8,687	8,735	9,016	千円	
		総事業費	54,325	197,341	47,717	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①管理運営コスト(開設日1日当たり)	156,556	616,691	166,261	円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①市民交流センター内貸室利用率	実績値	60.9	59.7	46.3	%
			目標値	65.0	65.0	65.0	
		②	実績値				
			目標値				
③		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	C コロナ禍で貸室利用率は低下したものの、ホールの音響・映像設備の更新による利便性の向上や、館内全体で利用可能なWi-Fi、貸出用サイネージを活用したオンライン会議の実施提案等を市報で周知し、コロナ禍での新たな生活様式にも対応した総合施設として利用促進を図ることができた。今後は商業フロアとのイベント・情報等の連携を強化していく必要がある。					
		今後の事業の方向性	改善推進 市民交流センターでのイベントと、1、2階の商業フロアや駅前周辺施設を連携させることで市民から親しまれる施設としてのPRと駅前の賑わい創出を図る。 また、デジタルサイネージ等を活用した観光情報やクラシティ全体の情報を充実させ、活気のあるまちづくりの拠点としての情報発信機能の強化を図る。				
			令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位	
①市民交流センター内貸室利用率				65.0	%		